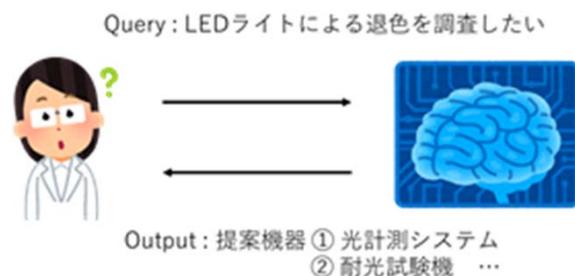


## 目的

工業技術センターへの問い合わせは時に曖昧であり、使用すべき機器や担当研究員が明確でないことがある。

⇒ **AI**による機器や研究員の提案ができるか？

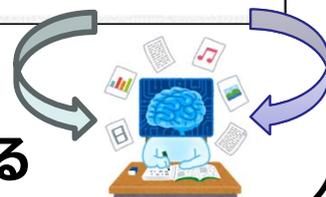


## 方法

工業技術センターでは、問い合わせごとに「相談データ」と呼ばれるデータを手動で登録してきた。

⇒ **相談データ**を利用して担当者を応えるAIを学習する

相談内容	担当者名
淡路産タマネギの成分分析について	吉田和利
無線モジュールの電波評価について	中里一茂



## 結果

Linear SVC (単純な機械学習モデル) が最も性能が高い。

	Linear SVC	Naive Bayes	K-neighbor	RNN/LSTM
train acc	96.10%	69.40%	69.10%	-
test acc	<b>75.0%</b>	65.60%	61.00%	65.20%

⇒ **正解率75%**で担当研究員を応える。

## 完成システム 問いに対して研究員や機器回答をするbot

### ハロー支援チャットボット (仮)

質問

質問文 : AIを使ってChatBotを開発したい

1-1. 相談DBモデルへの入力 : 開発 AI

1-2. 相談DBに基づく回答 : 福田純

2-1. 機器ベクトル・研究ベクトルへの入力 : AI chatbot

2-2. 機器ベクトルに基づく回答 : 構造解析システム\_野崎:52.0%, リアルタイムPCRシステム\_今井:51.9%, 共焦点顕微鏡\_青木:50.5%,

2-3. 研究ベクトルに基づく回答 : 金谷典武:51.3%, 福田純:48.1%, 南斉亮佑:40.8%,



この質問なら……  
この人かこの機器が  
いいかな？